

提携店訪問記②③ 銘茶 関口園 様

令和6年4月某日、宇都宮市馬場通りにある「銘茶 関口園」様を訪問しました。店舗は、宇都宮二荒山神社のお膝元にあるうつのみや表参道スクエアビル1階にあります。お店の歴史は古く、明治15年に、初代の方がご自身の出身地から屋号を「都賀屋」とされ、宇都宮市千手町にて、お茶卸小売りを始められたそうです。その後、明治35年に現在の馬場通り(旧相生町)に移転され、屋号を「都賀屋関口園」として、営業されました。昭和20年には、宇都宮大空襲にて、倉庫店舗とも全焼しましたが、その後復興され、昭和25年には「株式会社 銘茶 関口園」として現在に至り、創業141年目を迎えられ、現在の代表取締役は、第五代目になられるそうです。「宇都宮二荒山神社御用達」のお店でもあります。

お茶は、静岡や九州をはじめとして、オリジナル茶約48種類を取り扱われています。煎茶では、初代から引き継がれている、お店オリジナルの強火入煎茶の「天下一」が人気だそうです。同じく、煎茶「宗三郎」は、「東京ソラマチ」とJR宇都宮駅の「宇都宮みやげん」でも購入できるとのことでした。他には、静岡の掛川茶、福岡の八乙女茶、鹿児島を知覧茶、宇治の玉露などが店頭に並べられていました。ホームページ開設の他、LINE、フェイスブック、Instagram、X、TikTok、YouTubeで情報を発信されています。特に、YouTubeでは、店内の様子やお茶のいれ方などを動画で紹介されています。また、近年一部のお茶屋さんで「御煎印」が作成されるようになっていますが、関口園様でも「御茶印」を作成され、頒布されています。



お店入口の右側には、お茶などのテイクアウト用の窓口があり、「手摘み高級緑茶、抹茶ミルクティー、ほうじ茶ミルクティー、きぶな茶(レモン入り)」などの温と冷の飲み物や「自家製抹茶ソフトクリーム、ほうじ茶ソフトクリーム」などのアイスクリーム、最近では関口園オリジナルの「抹茶ビール」が販売されています。購入したものは、店内のイートインスペースでいただくこともできます。

宇都宮市には、田川で釣った黄色い色をした鮒を病人が食べたところ、病気は治ったことから、神様のおかげと感謝して黄ぶなの形をしたものを新年に供えるようになったという「黄ぶな伝説」がありますが、関口代表取締役は「黄ぶな推進協議会」の会長を務められています。協議会は、物販店、飲食店、協力団体等で構成され、9月27日を「黄ぶなの日」と制定され、フォトコンテストや店内イベントなどが開催されています。また、宇都宮市の学校に出向き、教育活動のお手伝いをする「街の先生」にも登録されています。

フェイスブックの自己紹介の欄には、「暮らしのなかで幸せな一服。銘茶で和みのひとときを・・・」とあります。そのような時間を過ごせるように訪問されてみてはいかがでしょうか。



銘茶 関口園

住所	宇都宮市馬場通り 4-1-1 うつのみや表参道スクエアビル1階
営業時間	10:00~18:00(4月~10月), 10:00~17:30(11月~3月)
定休日	水曜日
駐車場	みやスク内駐車場は当初30分無料。当店で買い上げ1500円以上で30分の駐車券をサービス
ホームページ	sekiguchien.co.jp
特典	急須2割引(一部除く)